



明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリー

生産

【種別】 官報
 【資料名】 凶作原因調査報告
 【巻次】 官報七一三五號(14~17頁) 明治四十年
 【副題】
 【記録年】
 【刊行年】 明治40年4月16日
 【編著者】 関豊太郎
 【出版所】
 【寸法】 縦30cm 横20cm

【略説明】

凶作(冷害)の原因に関する調査論文。三陸沿岸の海水温観測を基に、天保以来最大の凶作であった明治38年(1905年)の冷害の原因を追究し、冷害が海水温と密接に関係していることや、ヤマセの現象面を明らかにしているほか、沿岸海水温の観測による冷害予知の可能性についても論じている。

なお同史料は国立国会図書館のデジタルアーカイブでも公開されている。

【注記】

著者の関豊太郎氏は、盛岡高等農林学校(明治35年(1902年)創設、現岩手大学農学部)の教授。土壌学の師として同校の学生であった宮澤賢治を指導している。同校は東北開発の一環として創設され、東北農業振興の大役を担っていた。その課題の一つとして、東北地方を襲う常習的冷害の克服があった。同校の冷害気象研究は伝統として受け継がれ、宮澤賢治の作品などにも影響を与えている。

史料を所蔵している岩手大学は、大正元年(1912年)に建築された盛岡高等農林学校本館を農業教育資料館として使用しており、館内で盛岡高等農林学校時代の史料を公開している。なお同資料館は明治後期の様式を代表する木造欧風建築物として重要文化財の指定を受けており、その佇まいからは明治期を偲ぶことができる。

【所蔵機関】 岩手大学農学部附属農業教育資料館/岩手大学図書館

【住所】 岩手県盛岡市上田3丁目18-8

【連絡先電話番号】 019-621-6103(農学部)

【所蔵URL】 <http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/edu/>

【閲覧】 常設展示(資料館・写)

開館時間 : 平日の10時~15時(4月最終土曜日~11月3日までは土日祝日も開館)

休館日 : 冬季の土日祝日、8月13日~15日、12月28日~1月4日

入館料 : 小・中学生70円、高校・大学生100円、一般140円

【所蔵機関】 国立国会図書館
 【住所】 千代田区永田町1-10-1(東京本館)
 【連絡先電話番号】 03-851-5484
 【公開URL】 <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2950481>

【該当部分】

